

(第二十六部)

第二回 参議院決算・鉱工業連合委員会會議録第二号

昭和二十三年四月十四日(水曜日)午前十一時三十九分開會

本日の會議に付した事件

○石炭設置法案(内閣提出、衆議院送付)

○委員(長下條廣重君) 只今から決算、礦工業連合委員会を開きます。石炭設置法案が衆議院を通過いたしました。正式に委員会に付託になりました。前回に引續きまして御質疑を願いたいと思ひます。商工大臣が間もなく見えますが、石炭局長が見えておりますからどうぞ……。

○政府委員(吉田博二郎君) ちよつと御説明したいと思ひますが、御手許へ送りました資料の中で若干訂正がございまして、只今御手許に配りましたのが正式のものでございまして、石炭設置法案施行令と施行後の石炭産の機構の表がございまして、これは別にお配りしたものがあつたかと思ひますが、こちらの方が最近の資料でございまして、これによつて御覽を願ひたいと思ひます。

それでは進んで申し上げます。施行令の中で、第二條に「長官」とございまして、前の案では、長官の下に「一人一級」といふのがあつておりました。それから第三條の「商工事務官」という項で「専任七十四人二級」とあります下に「内一人を一級とすることができ」といふのは間違ひでございまして、これを直すのが正しいわけでありまして、これはミズプリントでございしますが、

第五條の「三級官吏の専任」は「専任」の間違ひでございまして、それからこれは表の方でございまして、從來管理局に資金課と經理課を置いておりました。その「資金課」を「監査課」に訂正をいたしております。それから前の資料の中に、開設局の中で「企業課」と申すのがございまして、今度これを「審査課」といふ名前に改めました。それから鉱炭局、ここに「業務課」と書いてあります。業務課が二つになりますので、亜炭局の方を「配給課」に改めてあります。要するに、同じ礦内に同じ課が二つありますと、非常に間違ひるものでありますから、開設局の方に業務課がございまして、亜炭局の方に配給課に改めるのであります。それから亜炭局と生産局と生産課が二つございまして、これも間違ひ易いので、生産局の方を「炭政課」といふように名稱を改めてあります。前の間違ひでございまして、訂正をいたしましたわけでございます。

○山下義信君 この石炭産の設置に伴いまして、地方の石炭局の機構も若干變つて参ります。それから地方の石炭局の方には相當民間の人を採用するといふ御方針であるように承つておるのではありませんか、その人事の選考などは相當お進みになっておられますか、その點を承りたいと思ひます。

○政府委員(吉田博二郎君) 地方の石炭局の構成は、國家管理法に基いて設置をせられます。ただ石炭局内の構成

につきましては、これは訓令を以て大體の機構を定めておるわけでございますが、豫算において御決定を願つてございまして、大體の機構を申し上げます。

この四月の暫定豫算におきましては、石炭局は三部制から成つております。管理部、生産部及び勤務部の三部制でございまして、この運用におきましては、この程度では若干仕事は足らんかと思ひまして、即ち札幌と福岡におきましては、更にそれぞれ二部を増設をいたしたいと考えております。即ち資材部と保安部の二部を札幌と福岡には増設をいたしたいと思ひまして、只今大蔵省と豫算の折衝をいたしております。この管理部にはどういふ仕事があるかと申しますと、大體本省の管理局に照應いたしまして、管理課、經理課、監査課、統計課という四課を置きます。生産部におきましては、生産課と資材課と保安課を只今豫定いたしました。資材課と保安課を只今豫定いたしました。資材課は、只今申しました札幌、福岡におきましては、現在でも資材關係については相當の職員がおりますので、これを獨立いたしました資材課といたしたいと思ひます。又保安の事は、今後の増産において労働者が安んじて石炭を掘れるといふことにはどうしても保安の行政を強化する必要がありますので、獨立して保安課にいたしたいと思つております。それから勤務部につきましては、勤務課と生活物資課とを置きまして、これを勤務課關係の福利厚生並びに労働諸問題に

ついでの仕事を取り。こういうことになつたと思ひます。

それから職員任用の問題でございしますが、只今お話の通り、石炭局の局長の過半数は民間人を以てこれに充てるといふことは、かねて商工大臣が第一國會において言明せられた通りでございまして、只今この石炭局長の中心でありますところの石炭局長の人選を、各地の勞資双方の推薦によりまして決定を見たのでございまして、只今その任命の手續中でございまして、もう一兩日中には發令ができるかと考えております。部長以下につきましては、石炭局長が中心になりまして、それぞれ各地の勞資双方と相談をせられましてこれを採用せられるわけでございます。して、段々案もできておりますので、これ亦逐次任命が行われることと思つております。経営者の方も労働組合の方も、それぞれ國營の實施については協力するといふことを聲明せられておりますので、今後とも圓滑にこの問題は進んでおるでございまして、

○兼岩傳一君 ちよつとお伺ひいたします。今の地方の石炭局の問題です。中央の石炭産については、この生産の實際の人を行政に移し植へるために、從來の古い官僚的な機構を打破するために、どのような人事の方針を探らうという構想で進んでおられますか。

○政府委員(吉田博二郎君) 從來で

○政府委員(吉田博二郎君) どうも人數の比率というものは考えたことはございまして、

○政府委員(吉田博二郎君) どうも人數の比率というものは考えたことはございまして、

さいませんが、要するに生産の實際についての知識につきましては、どうしても實際の仕事に携わられた方が便宜だと考えております。従いまして生産局の課長におきましても、又開設局、こ

ういうような仕事におきましても相當の人員を實際の経験のある方を持つて行きたい。或いは資材局も頼山で實際に資材に當つた方で適當な方があれば、是非とも頂きたいと考えておりますが、大體課長のうち一、二名くらいはこれらの局にはそれ／＼民間の経験のある方を配置したらどうか、こ

うふうに考えております。
○委員長（下條廣重君） 他に御質疑がございせんければ、質疑は終つたことにしてよろしくございましょうか。

（異議なしと呼ぶ者あり）
○委員長（下條廣重君） それでは質疑は終つたことにいたしまして、この際御意見がありましたらお述べを願いたいと思ひます……。別段御意見がなければ連合委員会はこの程度で済まして置きたいと思ひますが、如何でござい

ますか。
（異議なしと呼ぶ者あり）
○委員長（下條廣重君） それでは連合委員会はこの程度で止めて置きまして散會いたします。

午前十一時五十三分散會
出席者は左の通り。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 決算委員 | 委員 | 理事 | 委員 |
| 下條 廣重君 | 下條 廣重君 | 山下 義信君 | 吉川末次郎君 |
| | | | 北村 一男君 |
| | | | 中川 幸平君 |
| | | | 竹中 七郎君 |

鐵工業委員

理事

委員

政府委員

石炭廳次長

吉田第二郎君

- | | | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 平野善治郎君 | 深川タマエ君 | 小野 哲君 | 駒井 藤平君 | 鈴木 憲一君 | 山崎 恒君 | 兼岩 傳一君 |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 下條 恭兵君 | 小林 英三君 | 中川 以良君 |
|--------|--------|--------|

- | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大島農夫雄君 | 村尾 重雄君 | 堀 末治君 | 池田七郎兵衛君 | 入交 太蔵君 | 小宮山常吉君 | 佐伯卯四郎君 | 宿谷 榮一君 | 玉置吉之丞君 | 田村 文吉君 | 藤井 丙午君 | 細川 嘉六君 |
|--------|--------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|